

令和5年4月9日
執行

大分県議会議員選挙公報

竹田市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

県政に市民の声を届ける

県政の転換期です だからこそ、竹田市には県事業を継続する強い取組が必要です。
「竹田市の歩みをとめない」その覚悟と責任を軸にこれからも
竹田市発展の為に尽くして参ります。

市町合併した年に生まれた子どもたちが、選挙権を持つ齢になりました

子どもたちが帰ってこられるように故郷を守る覚悟と責任



Uターン親元就農促進 と獣害対策に注力し 農地を守ります！
林業従事者を育成し 森林保全を進めます。
商工観光業者の後継者支援の具体的な施策に注力します。
竹田高校・久住高原農業高校を維持し、更なる高校教育の向上をはかります。

竹田を守る
覚悟と責任



自民党公認
公明党推薦



吉竹 さとる

責任世代
49歳

井ひであきがやりたい仕事

少子高齢化が進み人口は減っていく厳しい現実を踏まえ、先輩方が創ってきたふるさと竹田市を
責任世代としてしっかり引き継ぎ 次の世代へバトンタッチ!

暮らし

- 中九州道路の早期完成
- ムラ・マチを支える人づくり・仕組みづくり
- 過疎地域の免許返納者・交通弱者対策 など

環境・産業

- 農林畜産業の発展と担い手の育成
- 燃料代高騰支援
- 阿蘇・くじゅう・高千穂広域観光圏 など

教育・子育て

- 「子ども第一」の教育支援
- 「竹田学」を深め子どもたちがプライドを持てるふるさとへ
- ICT教育支援 など

親世代のこれからと子どもたちの未来に責任!だから責任世代!



49歳

井ひであき

未来を変えよう

過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる

働き手不足が深刻な状況になってきた竹田市。でもまだ竹田の未来をあきらめられない

①暮らしを支える労働力の確保

深刻化する働き手不足、に対しては、総合的な対策を戦略的に進めながら、先進テクノロジー等を活用した代替策の導入により日常生活を支える労働力を確保します。

②国策と連動した子育て支援

婚活、出産、保育、教育等の各ステージで、経済的・精神的・制度的支援や情報提供等、国策(里親・養子縁組制度含む)と連動した支援策を総合的に進めます。

③企業誘致と定住・交流人口対策

熊本県に進出する世界的半導体メーカーを念頭に、労働力の流出防止策と併せて定住人口増や関連企業の誘致を行いながら、県境を越えた広域観光を展開し交流人口増を図ります。

④土地の機能維持と農林畜産業の振興

山、川、道路、牧野、水路、宅地等の維持管理策を検討しつつ、食料自給率の向上に向け、肥沃な大地と農業用水を活かした持続可能な農林畜産業の振興を図ります。

⑤災害対策と地域医療・福祉の向上

遠くない将来、発生が予想されている大規模自然災害への備えを県全体で進めるとともに、災害弱者等を地域で支えることのできる仕組みづくりを強化します。

みやなり公一郎 プロフィール

昭和37年 竹田市大字竹田で生まれる
昭和50年 竹田市立竹田小学校 卒業
昭和53年 竹田市立竹田中学校 卒業
昭和56年 大分県立竹田高等学校 卒業
大分大学経済学部 入学
バイク事故で脊髄損傷 休学
昭和58年 1年半の入院を経て退院 復学
右下肢機能全廃等(身障3級)
昭和62年 大分大学経済学部 卒業
竹田市役所 就職
令和5年 竹田市役所 退職(1月)
総務課長・社会福祉課長
保険健康課長 等を歴任

竹田市のために一歩踏み出す



みやなり公一郎

この選挙公報は、立候補者3名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。